

不妊症について

ときざわレディースクリニック

時澤 俊也 先生

「欲しいと思ったら子どもはすぐにできるものだ」とか「結婚したら子どもはできるものだ」などと思っている人が多いです。また、そのため周囲の心無い言葉に深く傷ついている人も数多くいます。

新しい命を授かるためにはいろいろな要素がうまくかみ合わなければなりません(すべてが完璧でも、1回で必ず妊娠するものでもありません)。

排卵の時にタイミングを合わせても妊娠する確率は10~20%でしかないことが分っています(これが積み重なって、20代のカップルは1年で85%ぐらい、2年で95%ぐらいが妊娠すると言われていています。これを逆に言うと、10%のカップルは特になんでもないのに1年では妊娠しないということになります)。

また、女性の年齢が進むにつれ妊娠率は落ち、40歳を過ぎると半数以上が不妊で悩むと言われていています。

「不妊症とは正常な夫婦生活があって、2年以内に妊娠しない場合をいう」ことになっていますが、結婚が遅かったりすれば、2年待つことでますます妊娠しづらくなってしまいます。

不妊症は女性に原因があることが多いと思われがちですが、男性に原因があると思われるカップルも半数近くいます。

また、原因がとても鮮明に分ることもあります。ご夫婦ともにこれといった異常が見つからないこともよくあります。

あせりは禁物ですが、生理の不順な人、生理がなかなかこない人、基礎体温が二相性にどうしてもならない人、生理が重くなってきた人、もう長く(2年以上)避妊していないが妊娠しない人などで、妊娠を望んでいる場合は早めに最寄りの産婦人科を受診することをお勧めします。